

## News Release

2024年1月25日  
NITE ( ナ イ ト )独立行政法人製品評価技術基盤機構  
北 陸 支 所

## 無頓着は火事の元！

～5年で2倍、配線器具の火災事故に注意！～

## 1. 事故の発生状況

2019年から2023年までの5年間にNITEに通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で配線器具の火災事故が5件<sup>※2</sup>ありました。

## (1) 県別の年別事故発生件数（表1）

表1 配線器具の火災事故の県別年別事故発生件数（2019～2023年）

発生年		富山県	石川県	福井県	合計
2019年		1	0	0	1
2020年		0	1	1	2
2021年		1	1	0	2
2022年		0	0	0	0
2023年		0	0	0	0
合 計	事故件数	2	2	1	5
	火災件数	[2]	[2]	[1]	[5]

※1: 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2: 重複、対象外情報を除いた事故発生件数

## (2) 県別の被害状況別事故発生件数 (表 2)

表 2 配線器具の火災事故の県別被害状況別事故発生件数 (2019~2023 年)

被害状況 <sup>※3</sup>		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	1	1
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	1	2	0	3
	製品破損	1	0	0	1
被害なし		0	0	0	0
合計		2	2	1	5

※3：人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複 カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 主な製品事故事例

## (1) 最大消費電力を超える電気製品を接続して出火した事例

・2019年4月（富山県、男性、70歳代、製品破損）

## 【事故の内容】

コンセント及び周辺を焼損する火災が発生した。

## 【事故の原因】

当該コンセントから送り配線<sup>※4</sup>された別のコンセントに接続可能な最大電力を超えて複数の電気製品を接続し使用していたため、送り配線と当該コンセントの刃受金具の接触部で異常発熱したものと推定される。なお、当該コンセントは、長期使用（28年3か月）により、送り配線の接触部で接触抵抗が増加していたことも事故発生に影響したものと考えられる。

※4：複数のコンセントを設置する際に、それぞれのコンセントを接続していく配線のこと。

## (2) ほこり、水分の付着や液体などの浸入により出火した事例

・2020年8月（石川県、男性、40歳代、拡大被害）

## 【事故の内容】

延長コードを使用中、マルチタップ付近から出火し、周辺を焼損した。

## 【事故の原因】

亀飼育用ケースの近くに置かれていた延長コードの内部にペット（亀）の尿が浸入したため、刃受け金具と接続していた電源プラグ刃との間で腐食による接触不良が生じ、異常発熱して焼損したものと推定される。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 吉田、塚谷、高島

電話：076-231-0435

以上